

2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 竹本容器株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4248 URL https://www.takemotopkg.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 竹本 笑子  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室長 (氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月29日 配当支払開始予定日 2022年3月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 国内機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	15,776	6.1	1,754	△1.3	1,837	2.7	1,193	143.3
2020年12月期	14,863	△2.2	1,778	15.6	1,789	13.6	490	△53.0

(注) 包括利益 2021年12月期 1,810百万円( 274.0%) 2020年12月期 484百万円( △46.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	95.28	94.90	11.7	10.0	11.1
2020年12月期	39.16	39.01	5.3	10.3	12.0

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 -百万円 2020年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	18,976	10,980	57.6	872.29
2020年12月期	17,712	9,469	53.2	751.79

(参考) 自己資本 2021年12月期 10,928百万円 2020年12月期 9,419百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	1,786	△532	△615	6,412
2020年12月期	2,916	△466	△227	5,504

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	-	9.50	-	9.50	19.00	238	48.5	2.6
2021年12月期	-	14.50	-	17.50	32.00	400	33.6	3.9
2022年12月期 (予想)	-	17.50	-	18.00	35.50		36.2	

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,150	3.4	870	△8.7	880	△12.4	600	△9.5	47.88
通 期	16,500	4.6	1,770	0.9	1,790	△2.6	1,230	3.0	98.17

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	12,529,200株	2020年12月期	12,529,200株
2021年12月期	400株	2020年12月期	400株
2021年12月期	12,528,800株	2020年12月期	12,528,598株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2021年1月1日～2021年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として緊急事態宣言が年初から発令されていたことで厳しい状況が続いていましたが、10月以降は新規感染者数も減少するなど、持ち直しの動きが見られています。しかし、オミクロン株による感染再拡大の懸念、世界的な経済活動の低下に起因する供給面の制約、原材料価格の動向等による下振れリスクがあり、先行き不透明感は依然として残っています。

このような状況において、当社グループは生活上必要不可欠な容器-カタチ(容)あるウツワ(器)-をつうじて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命とし、世界の持続可能な発展に貢献する容器開発を継続して進め、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指して、Standoutなパッケージングソリューションを提供しております。

また、当社グループは自然に還りやすい「生分解性プラスチック」の容器を開発して以来、植物由来のバイオマスプラスチックやリサイクルされた原材料を使用した製品、プラスチック材料の使用量を削減した製品、詰め替え、付け替え機能の付加により繰り返し使用できる製品など、幅広いラインナップで環境配慮型の製品を提供しております。

業績面ではスタンダードボトルを軸とした開発提案型の営業活動を継続して行い、新規案件の獲得に努めたことで既存製品の追加注文も拡大し、化粧品向けを中心に売上が増加しました。また、当社の幅広い環境配慮型の製品ラインナップや環境への取り組みも含めてお客様から評価いただいたことにより、環境対応容器売上も増加しました。中国では化粧品開発に関する規制強化があり、現地の中堅化粧品会社の商品開発が停滞したものの、日系・外資系企業への販売が増加したことで現地通貨ベースの売上高は前期を上回り、さらに中国人民元に対する円相場下落(円安)により円換算額が大きく増加しました。以上の影響により連結売上高は増収となりました。

一方、今年初めからの原油価格の上昇による樹脂原材料価格の上昇、中国国内の社会保険料軽減措置が終了したことや、労務費・人件費の増加などの要因により、連結営業利益は減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は157億76百万円(前年同期比6.1%増)、連結営業利益は17億54百万円(前年同期比1.3%減)となりました。連結経常利益は外貨建債権の為替換算の影響により為替差益が生じたことなどにより18億37百万円(前年同期比2.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は11億93百万円(前年同期比143.3%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して12億64百万円増加の189億76百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して15億42百万円増加の118億20百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が9億23百万円増加、受取手形及び売掛金が2億43百万円増加、商品及び製品が2億52百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して2億77百万円減少の71億56百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物(純額)が、1億23百万円減少、機械装置及び運搬具(純額)が1億7百万円減少、金型(純額)が59百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億35百万円増加の44億66百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が80百万円増加、電子記録債務が1億91百万円増加、未払法人税等が2億25百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3億81百万円減少の35億29百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金金が4億1百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して15億11百万円増加の109億80百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金が11億93百万円増加、為替換算調整勘定が6億12百万円増加、剰余金の配当が3億円であったことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、64億12百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、17億86百万円(前年同期比38.7%減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益18億26百万円、減価償却費10億9百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額8億56百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5億32百万円(前年同期比14.1%増)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億87百万円及び無形固定資産の取得による支出36百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億15百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出7億14百万円、配当金の支払額3億円であります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、お客様の環境対応志向が高まり環境対応容器需要が増加する一方で、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、今後もwithコロナを前提とした需要が継続するものと考えております。また、当社の主要市場である「化粧品・美容」においては、日本国内は外出機会の回復傾向がみられるものの、外国人旅行者によるインバウンド需要の回復は見込まれておらず、ある程度限られた市場環境の中でより差別化された容器への需要が高まるものと考えております。

このような見通しのもと、当社グループは「世界の器文化に貢献」していくため「Standoutなパッケージングソリューション創造のために」提案活動を行ってまいります。一方で環境対応志向による環境対応容器需要が増加する中、環境問題への取組みは「世界の器文化に貢献する」観点で当社の重要な使命と捉えています。

当社では2030年にアジア・欧米での売上を増加させることでグループ売上300億円（以下、「2030年ビジョン」）の達成を目指しております。①圧倒的なスピードの実現と②サステナビリティ対応を含めた開発提案力の強化を重要課題と掲げ、さらにグループ全体のデジタル戦略を推し進めることで「2030年ビジョン」を実現に導く方針です。

圧倒的なスピードの実現に関しては、金型開発強化・短納期への更なる取り組み・TOGETHER LABの活用推進・WEBマーケティングの強化が、サステナビリティ対応を含めた開発提案力の強化に関しては開発投資の拡大・カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに配慮した新製品開発・2025年までに約束する3つのマイルストーンの実現がそれぞれ重要な要素になると認識しており、一つ一つの施策を着実に進めていく方針です。

以上の取組みを進めることで2022年12月期の連結業績見通しは、売上高165億円(前年同期比4.6%増)、営業利益は17億70百万円(前年同期比0.9%増)、経常利益は17億90百万円(前年同期比2.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は12億30百万円(前年同期比3.0%増)となる見込みです。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,507,268	6,430,635
受取手形及び売掛金	3,190,630	3,434,508
商品及び製品	1,098,594	1,350,943
仕掛品	37,704	57,079
原材料及び貯蔵品	244,417	296,296
その他	200,750	252,043
貸倒引当金	△796	△840
流動資産合計	10,278,569	11,820,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,099,339	5,281,160
減価償却累計額	△1,837,896	△2,142,947
建物及び構築物（純額）	3,261,442	3,138,212
機械装置及び運搬具	5,618,185	5,872,184
減価償却累計額	△3,710,472	△4,071,563
機械装置及び運搬具（純額）	1,907,713	1,800,620
工具、器具及び備品	539,403	556,532
減価償却累計額	△390,032	△423,243
工具、器具及び備品（純額）	149,370	133,289
金型	4,654,424	5,003,738
減価償却累計額	△4,163,888	△4,453,202
金型（純額）	490,535	550,535
土地	752,410	752,410
建設仮勘定	105,463	59,838
有形固定資産合計	6,666,937	6,434,907
無形固定資産	425,610	402,825
投資その他の資産		
投資有価証券	7,466	8,746
繰延税金資産	160,401	156,350
その他	180,393	153,459
貸倒引当金	△6,983	△96
投資その他の資産合計	341,277	318,460
固定資産合計	7,433,824	7,156,192
資産合計	17,712,394	18,976,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	743,968	824,017
電子記録債務	1,280,951	1,472,895
1年内返済予定の長期借入金	698,899	785,616
未払法人税等	476,894	251,147
その他	1,130,459	1,132,735
流動負債合計	4,331,173	4,466,412
固定負債		
長期借入金	3,559,707	3,158,091
退職給付に係る負債	342,345	361,994
資産除去債務	9,746	9,786
固定負債合計	3,911,798	3,529,871
負債合計	8,242,972	7,996,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	803,421	803,421
資本剰余金	1,030,222	1,030,222
利益剰余金	7,575,858	8,468,969
自己株式	△479	△479
株主資本合計	9,409,024	10,302,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,534	3,422
為替換算調整勘定	20,473	632,767
退職給付に係る調整累計額	△12,979	△9,551
その他の包括利益累計額合計	10,027	626,638
新株予約権	50,370	51,800
純資産合計	9,469,422	10,980,574
負債純資産合計	17,712,394	18,976,858

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	14,863,393	15,776,284
売上原価	9,950,603	10,796,766
売上総利益	4,912,789	4,979,517
販売費及び一般管理費	3,134,310	3,224,631
営業利益	1,778,479	1,754,886
営業外収益		
受取利息	25,846	29,328
受取配当金	144	156
為替差益	—	43,703
受取保険金	17,391	—
助成金収入	19,774	13,491
その他	11,171	12,801
営業外収益合計	74,329	99,480
営業外費用		
支払利息	17,247	15,306
為替差損	38,041	—
その他	8,422	1,868
営業外費用合計	63,710	17,174
経常利益	1,789,097	1,837,192
特別利益		
固定資産売却益	—	906
特別利益合計	—	906
特別損失		
固定資産除却損	1,892	11,507
減損損失	555,000	—
会員権評価損	340	—
特別損失合計	557,232	11,507
税金等調整前当期純利益	1,231,865	1,826,592
法人税、住民税及び事業税	692,567	630,060
法人税等調整額	48,660	2,728
法人税等合計	741,227	632,789
当期純利益	490,637	1,193,802
親会社株主に帰属する当期純利益	490,637	1,193,802



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	490,637	1,193,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	888
為替換算調整勘定	△9,859	612,294
退職給付に係る調整額	2,865	3,428
その他の包括利益合計	△6,558	616,611
包括利益	484,079	1,810,413
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	484,079	1,810,413

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年 1月 1日 至 2020年 12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	803,144	1,029,945	7,323,260	△479	9,155,872
当期変動額					
新株の発行	277	277			554
剰余金の配当			△238,039		△238,039
親会社株主に帰属する当期純利益			490,637		490,637
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	277	277	252,597	—	253,151
当期末残高	803,421	1,030,222	7,575,858	△479	9,409,024

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,098	30,332	△15,845	16,586	49,493	9,221,951
当期変動額						
新株の発行						554
剰余金の配当						△238,039
親会社株主に帰属する当期純利益						490,637
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	435	△9,859	2,865	△6,558	876	△5,681
当期変動額合計	435	△9,859	2,865	△6,558	876	247,470
当期末残高	2,534	20,473	△12,979	10,027	50,370	9,469,422

当連結会計年度(自 2021年 1月 1日 至 2021年 12月 31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	803,421	1,030,222	7,575,858	△479	9,409,024
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△300,691		△300,691
親会社株主に帰属する当期純利益			1,193,802		1,193,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	893,111	—	893,111
当期末残高	803,421	1,030,222	8,468,969	△479	10,302,135

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,534	20,473	△12,979	10,027	50,370	9,469,422
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当						△300,691
親会社株主に帰属する当期純利益						1,193,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	888	612,294	3,428	616,611	1,430	618,041
当期変動額合計	888	612,294	3,428	616,611	1,430	1,511,152
当期末残高	3,422	632,767	△9,551	626,638	51,800	10,980,574

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,231,865	1,826,592
減価償却費	1,050,404	1,009,425
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,333	24,372
減損損失	555,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,366	△6,891
受取利息及び受取配当金	△25,991	△29,484
支払利息	17,247	15,306
為替差損益(△は益)	28,853	△40,079
助成金収入	△19,774	△13,491
固定資産売却損益(△は益)	—	△906
固定資産除却損	1,892	11,507
会員権評価損	340	—
売上債権の増減額(△は増加)	△87,570	△128,077
たな卸資産の増減額(△は増加)	96,184	△271,825
仕入債務の増減額(△は減少)	92,379	221,364
その他	273,272	△23,948
小計	3,245,801	2,593,862
利息及び配当金の受取額	30,337	29,445
利息の支払額	△16,575	△15,741
助成金の受取額	41,524	35,241
法人税等の支払額	△384,486	△856,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,916,601	1,786,558
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△87,126
定期預金の払戻による収入	137,480	72,750
有形固定資産の取得による支出	△529,454	△487,336
無形固定資産の取得による支出	△85,357	△36,652
その他	10,932	5,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△466,399	△532,366
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	700,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△689,688	△714,899
株式の発行による収入	0	—
配当金の支払額	△238,039	△300,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,726	△615,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,876	269,656
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,240,351	908,259
現金及び現金同等物の期首残高	3,264,161	5,504,513
現金及び現金同等物の期末残高	5,504,513	6,412,772

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	751.79円	872.29円
1株当たり当期純利益金額	39.16円	95.28円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	39.01円	94.90円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	490,637	1,193,802
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	490,637	1,193,802
普通株式の期中平均株式数(株)	12,528,598	12,528,800
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	49,144	51,012
(うち新株予約権)(株)	(49,144)	(51,012)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連 結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,469,422	10,980,574
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	50,370	51,800
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,419,051	10,928,774
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	12,528,800	12,528,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。